

国語表現概論(Introduction to Japanese Language and Communication)

担当教員名	善塔 正志	
学科・専攻, 科目詳細	電気情報工学科 情報工学コース 5年 前期 2単位 学修A 講義	
学科のカリキュラム表	一般科目 選択科目	
共生システム工学の科目構成表	教養科目 人文科学・社会科学系	
学習・教育目標	共生システム工学	A-2(20%) E-1(80%)
	JABEE基準1(1)	(a)(f)
科目の概要	エントリーシート・履歴書・レポート・作文・小論文など、目的の異なる様々な文章(文書)表現について、それぞれの特徴や注意点等を概説する。各自、材料を事前に準備し、制限時間内で適切に書く練習を行い、明らかになった問題点を克服し、豊かで正しい表現力を獲得することを目的とする。	
テキスト(参考文献)	河野哲也『レポート・論文の書き方入門 第3版』慶應義塾大学出版会、2002	
履修上の注意	本科目は、授業で保証する学習時間と、予習・復習及び課題レポート作成に必要な標準的な自己学習時間の総計が、90時間に相当する学習内容である。	
科目の達成目標	(1) 日本語表現の特徴と、文法・語彙を学ぶと共に、幅広い知識と教養、感性を養うこと。 (2) 日本語の文章を批判的に検討し、それについて意見を持つことで論理的な思考力と表現力を養い、また自らの文章表現力を向上させること。 (3) 日本語表現上の様々な規則や文法事項を理解し、実践的な表現力を養うこと。 (1) が主に学習・教育目標(E-1) に、(2)(3) が主に学習・教育目標(A-2) に関係する。	
自己学習	(1) 課題毎に、事前の考察と、関連する諸必要事項を調べ、問題点を具体的に整理する。 (2) 課題毎に必要な形式や注意点を調べて理解する。	
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/3以上の欠課
	定期試験(50%)、小テスト・レポート等の平常点(50%)で評価し、60%以上の得点を合格とする。 (1) については小テスト、定期試験で理解力をはかる。(2) については、レポートによって到達度を評価する。(3) については、定期試験とレポートで評価する。 レポートの課題は以下を予定する。 (1) 履歴書・エントリーシートなどの自己PR に関係するもの (2) 様々なテーマ・出題形式による文書と小論文	
連絡先	zentoh@akashi.ac.jp	

授業の計画・内容	
第1週	オリエンテーション 1 テーマ・意図・構成について 2 自己評価・推敲について
第2週	自己PR文 1 材料収集・効果的表現（記号・構成など） 2 履歴書・エントリーシート
第3週	履歴書 1 データ部の書き方 2 自己PR部の書き方
第4週	エントリーシート 1 履歴書との違い。基本的な書き方 2 テーマ・事例の研究
第5週	履歴書・エントリーシートの周辺 1 送付状など 2 手紙・Eメールなど
第6週	報告書・レポート1 1 別記書き 2 図表・レイアウト
第7週	志望理由書・研究計画書 1 志望理由書について 2 研究計画書について
第8週	中間試験
第9週	小論文1 1 テーマ：地域貢献・インターンシップ・環境 2 材料収集・構成
第10週	小論文2 1 テーマ別の注意点 2 テーマ別の構成要素
第11週	報告書・レポート2 1 企画書・提案書 2 プレゼンテーション
第12週	論文1 1 計画書 2 構成
第13週	論文2 1 表記上の注意 2 文献表
第14週	論文3 1 調査・研究・意義 2 中間報告・審査会・質疑応答
第15週	整理と課題 1 問題点の整理と課題 2 まとめ
期末試験	